

## 新刊、うちの猫の場合3登場



猫本「うちの猫の場合」第3弾の新刊ができました！猫の七吉の話しはもちろん、今回は伝説の猫？アビスけさんの幼少期エピソードも登場。そしてモウ太に危機が!? どうぞよろしくね！



2011.12.30

七吉は今年で10才になりました。長い間闘病生活を送っていました。病院で処方されたドライフードのおかげで、すっかり快便になりました。予防接種以外では病院に行く事もなくなりました。しかし、七吉も今やお年寄りなので日々の健康管理には注意が必要です。冬になると、朝は湯たんぽ、夕方、もしくは昼頃から暖房がタイマーで作動。そんなお部屋で、七吉は今日も昼寝を満喫中です。

### 猫話

何年も前の話になるが、ある日外猫モウ太が小鳥を捕まえた。その日から翌日まで親鳥の猛攻が始まった▼モウ太がどこに行こうが、2羽の鳥が追いかけてきて頭上を旋回し、激しく鳴くのである。なんとも心が切なくなる光景だった▼ふと見ると私の車が鳥のフンだらけに…。▼そんな思い出の愛車も2年前廃車された。糞鏝びと共に。

● 七吉堂 …猫好きが高じ、趣味で便せんなどのグッズ、本、猫和小物などを細々と作っている。所在地、長野県。本の作者は現在東京にて借り暮らし中。



## ノラ猫のサット

数年前の話である。庭で猫のトラ美ちゃんにご飯をあげていると、どこからともなく、汚く痩せて眼光の鋭い不気味な猫が近づいてきた。トラ美ちゃんが、ちよつとお皿を離れた瞬間！その猫はものすごい速さの『ほふく前進』でご飯に近づき、あつという間に食い逃げした。それ以来、モウ太とトラ美ちゃんがご飯を食べに来る時を狙って奴はやって来た。なんとか奴より先に皿を片付けようとするが、何度も失敗に終わり食い逃げされた。その仕事ぶりと、ほふく前進姿が警察の特殊部隊の様で私は奴を、「サット(sat)」と名付けた。サットはしばらくして見かけなくなるのだが、実はサットはとても人懐っこい猫である事を知った。汚く痩せているが、ロシアンブルー系の猫で、飼い猫だったのではないかと思われた。なんだか切ない。私だけでもサットの事を憶えていようと思う。

## ■うちの猫の場合2 (A5判)

なんだか楽しい人たちと猫たちとの日々のお出立を描いた、四コマ漫画「うち猫」の第2弾です。



## ■こんにちはは ななきち (A5判)

七吉堂姉妹がノラ猫を助ける為に奮闘した日々を4コマ漫画におさめています。七吉の波瀾な幼少期がわかる一冊。



## 七吉堂

## ■猫のななきち的生活 (A5判)

猫の七吉を中心に生活する日々を描いた四コマ漫画。七吉の写真満載のカラーページもあります。

